

公債費の義務的経費は、前年度からみて2・5%の減額となりました。内訳は、公債費が0・3%の増額、人件費と扶助費の合計で4・3%の減額となりました。

投資的経費のうち普通建設事業は、対前年度6・4%の減額で4億972万7千円となりました。主な内訳は、辺地共聴施設整備事業、虻田漁港大磯分区分区整備事業、海岸通2期整備事業、洞爺2号線歩道新設事業、母子の館体育館耐震化事業などを計上しました。

また、産業・観光振興対策として、エゾシカなどの有害鳥獣から農業被害を防止するための経費、ウニ種苗放流事業、商店街を活気づけるための「ぐるっ」と洞爺湖プレゼント」地域活性化事業に対し補助金を昨年度に続き計上したほか、集中豪雨などに備えた農業被害対策、農業・水産業の6次産業化、地場産

※ 基金とは…？
家庭に置き換える「貯金」のことは、洞爺湖町を足る金（財政調整基金）の目的とした基金（公共施設等整備基金など）があります。

品のPR活動など商工振興に向けた取組みにも支援を行います。また、第40回記念大会を向かえる洞爺湖マラソン大会やアイアンマン・ジャパン北海道大会などのイベント開催支援のほか、国内外からの旅客誘致活動の推進、洞爺湖有珠山ジオパークの恵まれた地域資源を有効活用した事業にも引き続き取り組むこととします。

特別会計

国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計は、医療費や介護サービスなどの保険給付費が伸びたため増額、公共下水道事業特別会計は、長寿化計画により下水道建設費が伸びたため増額、簡易水道事業特別会計は、洞爺2号線老朽管布設替工事により増額となりました。

5つの特別会計を合わせた予算総額は37億2143万1千円となり、前年度からみて4・2%の増額となりました。

水道事業会計

水道事業会計は、収益的収支

が3億2275万8千円で、会計制度の改正により減価償却費が伸びたため、対前年度54・1%の増額となりました。

資本的支出は3億9074万5千円で、硬水対策施設整備工事の増額（3億4600万円）により前年度からみて724・8%の増額となりました。

基金（貯金）の残高

(単位:万円)

年度 会計別	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度 (見込)	平成26年度 (見込)
財政調整基金	7億3906	9億3934	10億955	11億4776	11億30
減債基金	1億263	1億267	1億269	1億272	1億275
その他特定 目的基金	11億2403	11億2413	15億2553	15億2500	12億6557
計	19億6572	21億6614	27億2777	27億7548	24億6862

※歳入不足を補てんするために使用することができる基金は、財政調整基金と減債基金である。

一般会計 の 主な事業

議会費

◆議会広報事業(年4回発行)：
129万円
6788万円



総務費

3億317万円

- ◆公共施設LED蛍光灯整備事業：286万円
- ◆旧成香小学校グラウンド遊具等撤去事業：169万円
- ◆箱根町姉妹都市提携50周年記念事業：200万円

民生費

13億9285万円

- ◆福祉灯油給付事業：287万円
- ◆老人、重度心身障害者、ひとり親世帯等の生活困窮者に対する灯油の助成
- ◆次世代育成支援行動計画事業：21万円
- ◆子ども・子育て支援事業計画策定委員会経費

